

# 避難訓練 1.17の集い

1月16日（金）6校時に、避難訓練と1.17のつどいを行いました。今



年は、阪神・淡路大震災から31年目を迎えます。いまなお日本全国各地では毎年のように地震が起こっており、災害に対する意識を含めての備えが必要になっています。そんな中での行事ということで、生徒

会執行部では今回の集会の持ち方について、時間をかけて話し合いをし、準備をしてもらいました。

訓練では、昼休みの時間中に、緊急地震速報が流れました。生徒は校内のさまざまな場所で生活していますが、

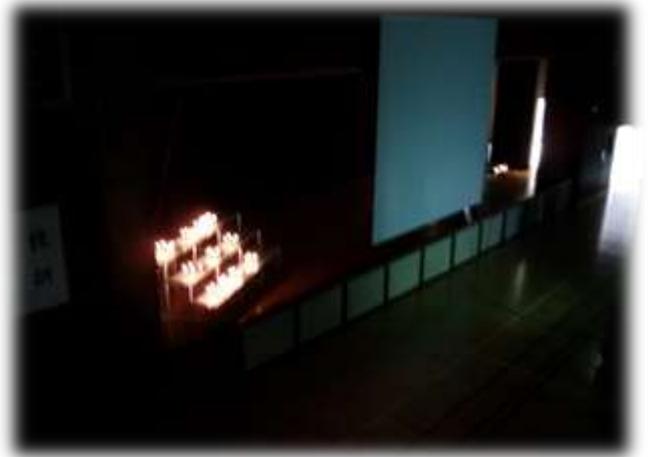


すぐに身を守る行動をとり、校内放送の指示にしたがって、避難場所であるグラウンドまで避難しました。途中、再度の余震にも気を付けながらスムーズに避難することができました。教員に負傷者



が出ている設定で、救出にも向かってもらいました。みんなしっかりと避難す

すことができました。その後、1・17のつどいとして体育館でセレモニーと防災学習を行いました。代表生徒が1月10日に「希望の灯り」の分灯式に参加して「灯り」をいただてきました。セレモニーではステージ上にその1・17の灯りをともして、厳かな雰囲気の中で黙とうをささげました。そ



の後、生徒会執行部で生徒アンケートから防災についての提案をしてくれました。最後に防災担当の先生から、災害に遭ったときの備えについてさまざまな視点から提案があり、沢山の学びと

なりました。

災害大国である日本列島に住んでいる私たちは、この災害に向き合っていく覚悟が大切です。そのためにも学びが大切だと感じます。地震をはじめとして各被災地の現状をしっかりとみて学び、今後の生活につなげていかなければいけないと思います。1・17集会は、全校生徒でしっかりと学びを深めた会になりました。今回の行事に向けて、いろいろな準備をしてくれた、生徒会執行部のみなさん、お疲れさまでした。